

カール5世の時代

- 中世のハプスブルク家
- カトリック両王からの王位継承
- スペイン・ハプスブルク帝国
 - ※スペインとオーストリアのハプスブルク家
- カール5世の時代(1516～1556)

ハプスブルク家

- ・ ハプスブルク家(ドイツ語でHabsburg、「鷹の城」の意)——現在のスイス領内(アールガウ地方)に発祥したヨーロッパのドイツ系貴族
- ・ 政略結婚と拡張政策により領土を拡大し、中世から20世紀初頭まで、オーストリア大公国、神聖ローマ帝国、スペイン王国、ナポリ王国、ボヘミア王国、ハンガリー王国、オーストリア帝国(のちにオーストリア・ハンガリー二重帝国)などの大公・国王・皇帝を輩出。
- ・ ヨーロッパの王家の中でも屈指の名門と言われている。
- ・ 皇帝カール5世のもとでヨーロッパの大領土を実現。さらに当時のスペインは中南米を植民地として支配していたため、カール5世の領土は「日の沈まぬ」大帝国となる。
- ・ 1556年:カールが退位。その後は、カールの子フェリーペ2世がスペイン王になってネーデルラントを継承し、神聖ローマ皇帝位を譲られたカールの弟フェルディナントがオーストリアとハンガリー、ボヘミアを領有。ハプスブルク家はスペイン・ハプスブルク家とオーストリア・ハプスブルク家に分かれる。

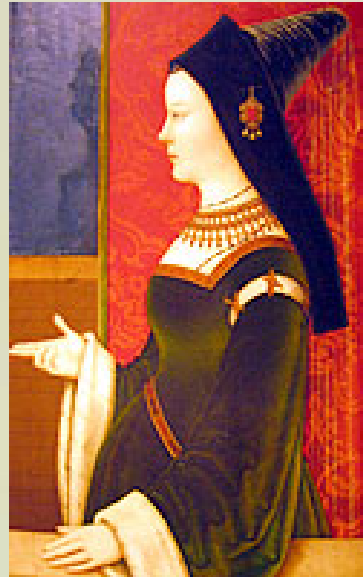
ルードルフ1世 (1218-1291年)



1359年 ハプスブルク家の建設公ルードルフ4世、
シュテファン大聖堂の再建を開始。



「中世最後の騎士」マクシミリアン1世 (1459～1519)



マクシミリアン1世の家族

(宮廷画家シュトリゲルによる肖像画)



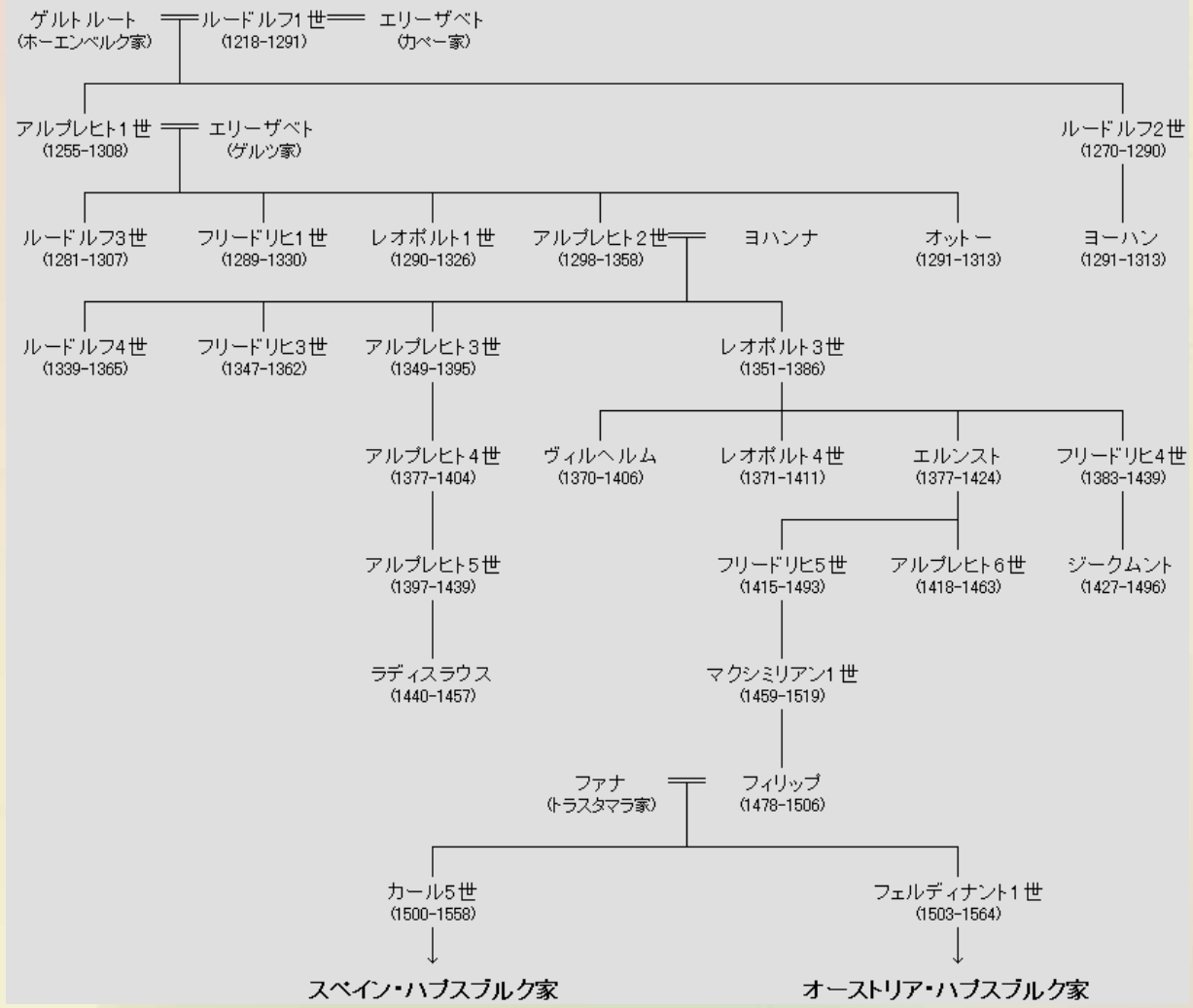
カトリック両王からの王位継承

- ・ フィリップ美公とフアナ1世(狂女王)

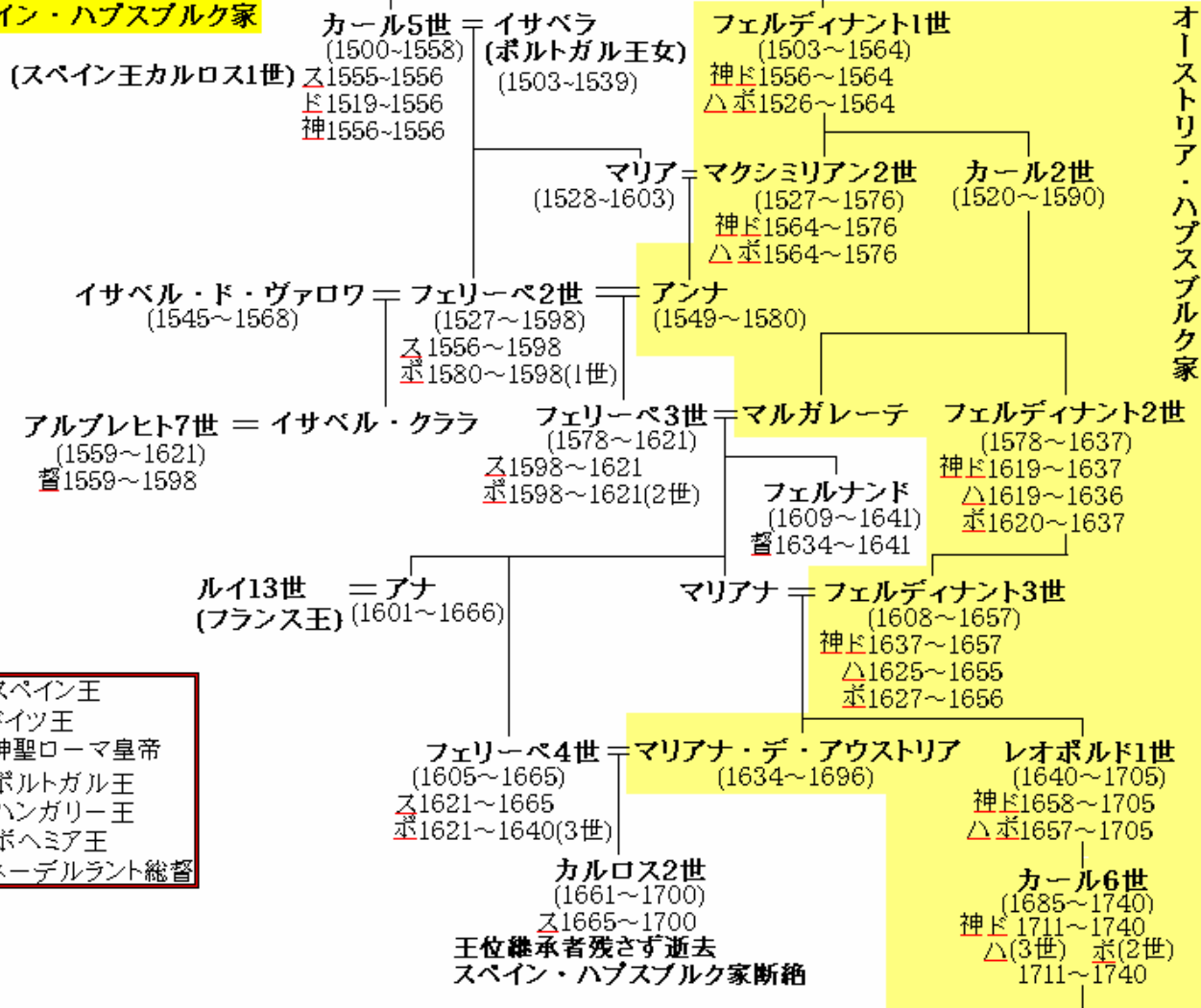


- ・ 『女王フアナ～愛し過ぎてしまった女～』
- ・ フアナ(ピラール・ロペス・デ・アジャラ)

ハプスブルク家系図(主要人物)

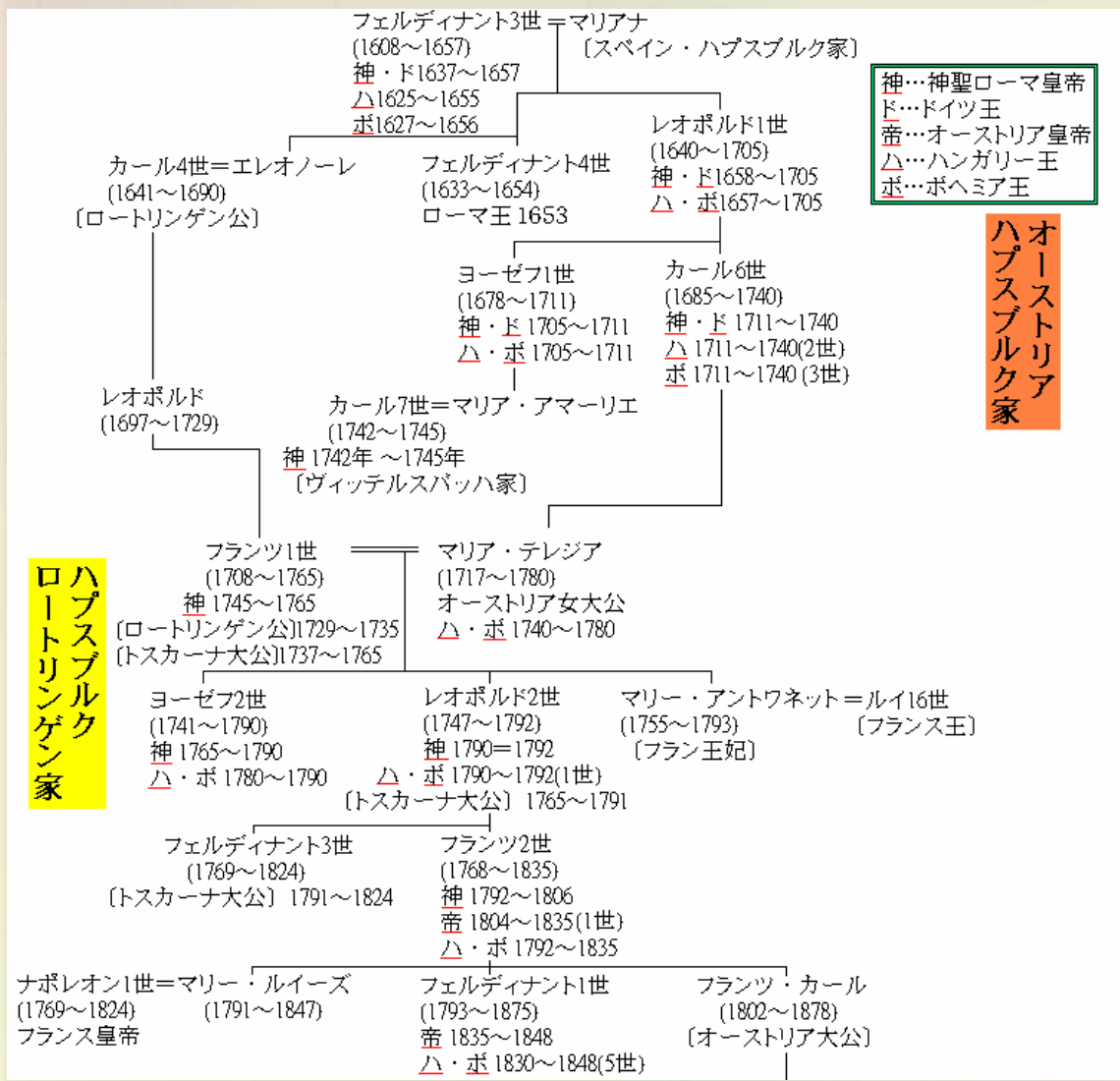


スペイン・ハプスブルク家



オーストリア・ハプスブルク家

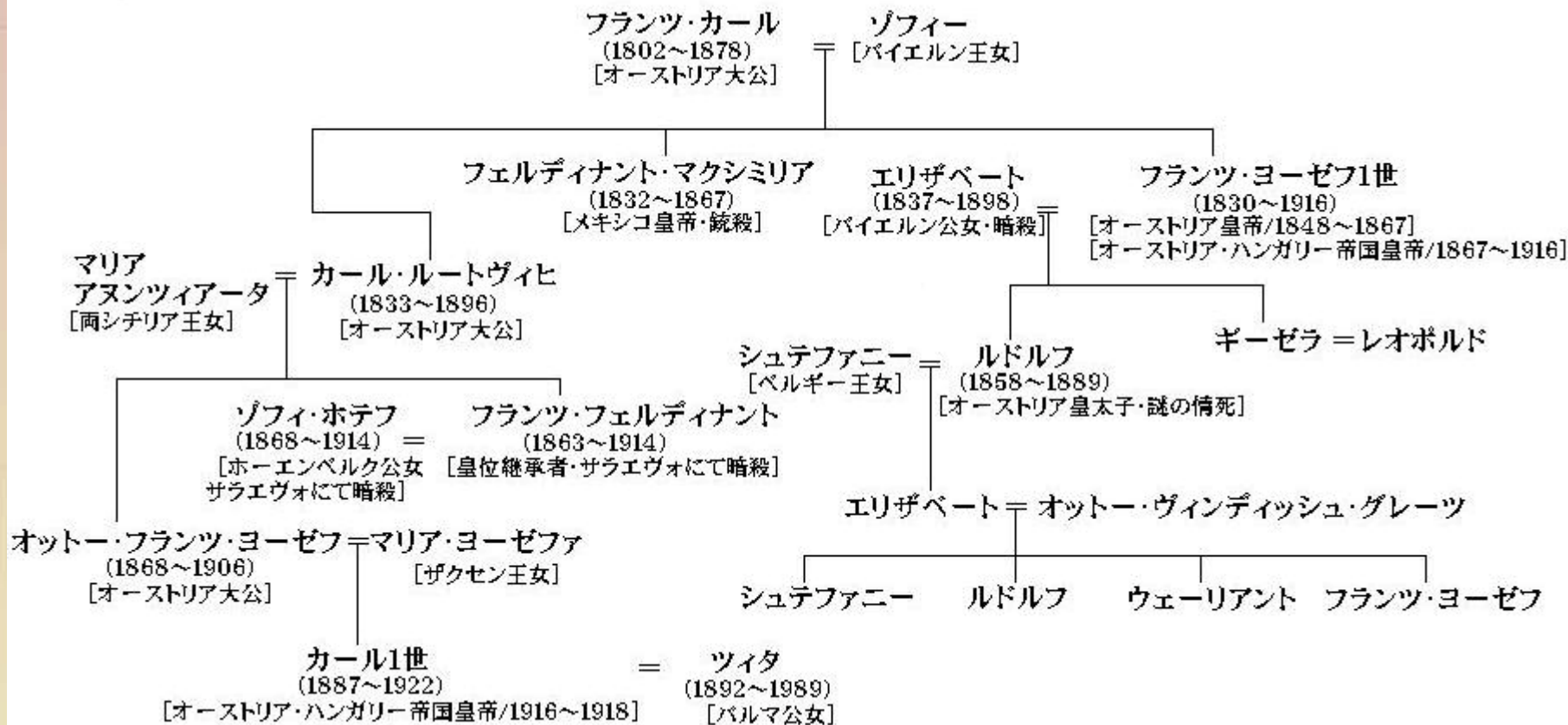
- ス…スペイン王
- ド…ドイツ王
- 神…神聖ローマ皇帝
- ボ…ポルトガル王
- △…ハンガリー王
- ボ…ボヘミア王
- 督…ネーデルラント総督



神…神聖ローマ皇帝
ド…ドイツ王
帝…オーストリア皇帝
△…ハンガリー王
ボ…ボヘミア王

オーストリア
ハプスブルク家

ハプスブルク
ロートリンゲン家





スペイン・ハプスブルク帝国 ——カール5世(カルロス1世)

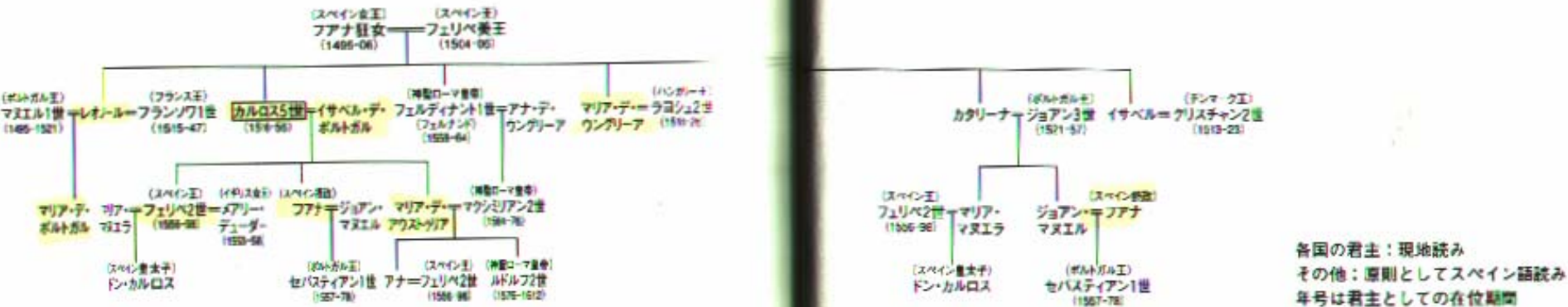
- ・ カール5世のブルゴーニュ侯爵位からの退位式(1555年10月25日、ブリュッセルで)

「余はドイツへ9回、スペインへ6回、イタリアへ7回、フランドルへ10回、フランスへ4回、イギリス、アフリカへ2回ずつ、合計40回におよぶ旅をした。(略)これまで余は、経験不足や、あまりのむこうみずさなどによって、多くの過ちをおかしてきた。しかし、けっして誰かを傷つけようなどという意図はもっていなかった。もし万一、そんなことがあったとすれば、ここに許しを請いたい。」

——→ 「遍歴の国王」カール5世(スペイン国王カルロス1世)

「余の帝国では太陽の没することがない。」

カルロス5世を中心とする系図



(カルロスの兄弟姉妹)

レオノール、フェルディナント、マリア・デ・ウングリア、カタリーナ、イサベル

(カルロスと王妃イサベルの子供) ※1526年に結婚、39年に死去

フェリーペ(2世)、フアナ、マリア・デ・アウストリア

※カルロスの庶子：マルガリータ・デ・パルマ(1522~1586)、ドン・フアン・デ・アウストリア(1545~1578)

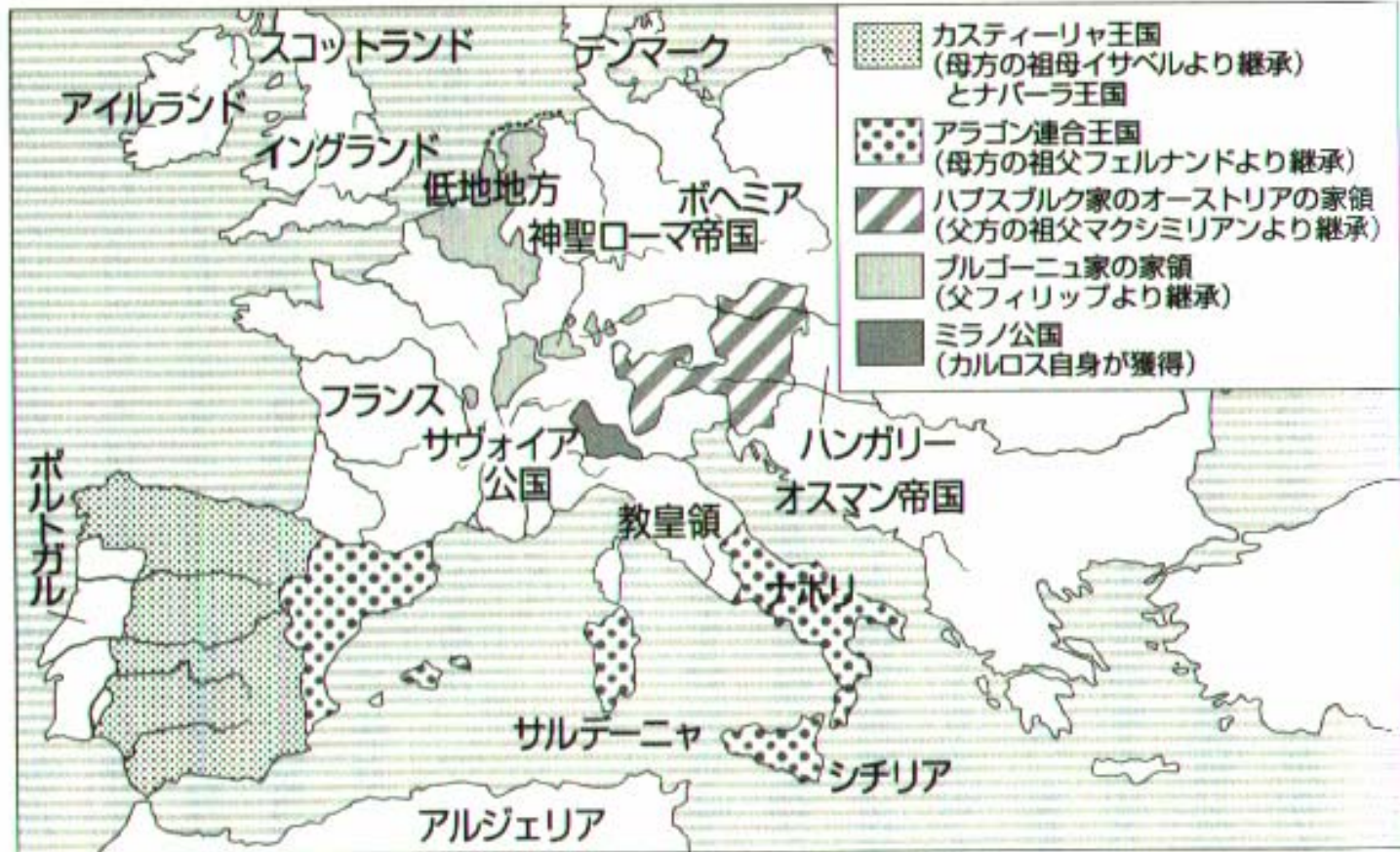
祈禱するカール5世の家族



(左から)

- ・ 娘マリア・デ・アウストリア
- ・ カルロス1世
- ・ 妹マリア・デ・ウングリア
- ・ 王妃イサベル・デ・ポルトガル
- ・ 姉レオノール

カルロス1世の帝国



カルロス1世の帝国

スペイン国王への即位

- ・ スペイン国王への即位とカスティーリャ王国の反発、コムネーロスの反乱(1520～21)

- ・ 1522～29年:スペインで過ごす。
- ・ 1525年、パヴィアの戦い、フランス王フランソワ1世と結婚
- ・ 1526年3月10日、従姉妹のポルトガル王女イサベルと結婚
- ・ 1527年5月21日、イサベルがフェリーペ(1世)を出産
- ・ 1527年、ローマ劫掠 ※「一都市の破壊というより、一文明の破壊です」(エラスムス)
- ・ 1539年5月1日、イサベルが死去
- ・ 1539年、ヘントの反乱。カルロスはフランドルに向かう。不在中の国王代理(摂政)に息子フェリーペ。
- ・ 1543～48年、フェリーペが2度目の国王代理
- ・ 1551～54年、フェリーペが3度目の国王代理



神聖ローマ皇帝位戴冠

- ・ 1521～22年、カールとフェルディナントの秘密交渉。兄不在時の皇帝代理。
- ・ 1530年2月24日、教皇クレメンス7世によるカールの神聖ローマ皇帝戴冠式
- ・ 1531年、フェルディナントはケルンで「ローマ王」に選出される。

- ・ 1551年3月、カールとフェルディナントの秘密協定—フェルディナント>フェリーペ>マクシミリアン

- ・ 1562年、フランクフルトでマクシミリアンを「ローマ王」に選出
——→スペイン系とオーストリア系への王朝の乖離

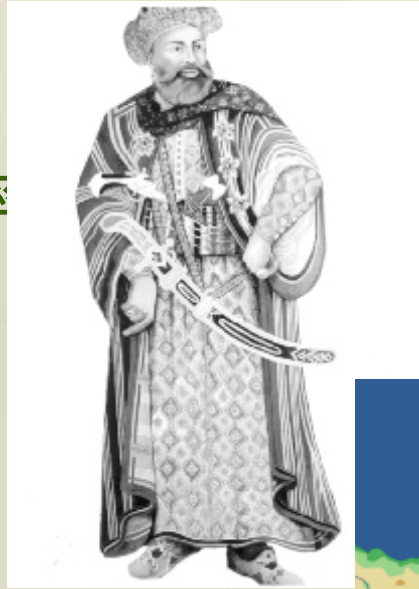


プロテスタント勢力との対抗

- ・ 1517年、ルターが「95箇条の論題」を掲げる
- ・ 1521年、ヴォルムス帝国議会で、ルターを異端として帝国追放に処する
- ・ 1524年、ドイツ農民戦争（～25年）
- ・ 1529年、ルターを支持する諸侯たちの抗議（プロテスト）
- ・ 1530年、シュマルカルデン同盟の結成
- ・ 1546～47年、シュマルカルデン戦争
- ・ 1555年9月25日、アウクスブルクの宗教和議（「領主の宗教がその地の宗教」）
- ・ 1555年10月25日、カルロスの退位表明

オスマン・トルコとの対抗

- 1529年、スレイマン1世率いるオスマン帝国軍がウィーンを包囲（第一次ウィーン包囲）
- 1535年、カール5世のチュニス遠征
- 1538年、プレヴェザ海戦、オスマン海軍が地中海の制海権を手に入れる。オスマンの提督バルバロッサ。
- 1541年、カール5世のアルジェ遠征



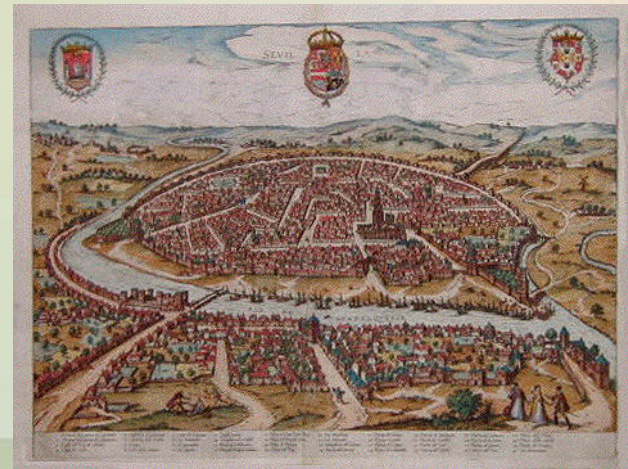
新大陸の征服・植民

- ・ 征服と植民
 - 1519年、コルテスがメキシコ征服を開始
 - 1532年、ピサロがペルー征服を開始
 - 1545年、ポトシ銀山開発
- ・ バリャドリー論争
 - 1514年、ラス・カサスの「改悛」
 - 1542年、インディアス新法の公布
 - 1550年、バリャドリー審議会で論争



新大陸の富と大西洋貿易

- ・ 1503年、セビーリャに通商院の設立
- ・ 1524年、インディアス会議の設立
- ・ 1543年、セビーリャにコンスラードの設立



「世界帝国」の 夢と挫折

ミュールベルクの戦い(1547年) ⇒
(ティツィアーノ、1548年)

○ダンテ(1265～1321)の『帝政論』

14世紀初頭、ハインリヒ7世に捧げた書
「世界人類の幸福実現のための正義と愛、
その具現者としての帝王」

○カルロスの世界帝国



「陛下、神がキリスト教世界のすべての国王、すべての諸侯のうえに陛下をのぼらせるというすばらしい恩寵を賜ったいまこそ、陛下は今日まで先達のシャルルマーニュだけが経験した非常に大きな権力の座にお就きになられたのですから、世界君主国への途上にあり、ただ一人の羊飼いのもとにまさにキリスト教世界を結集させようとしておられます。」

(大法官ガッティナラの言葉)

ユステ修道院への隠棲

- ・ 1556年1月16日、カルロスはフェリーペにスペイン王位を譲る
- ・ 1556年9月7日、神聖ローマ皇帝位を弟フェルナンドへ譲位する文書に署名
- ・ ユステ修道院における隠遁生活(1557年2月～)

[1558-59年: バリャドリーとセビーリャでプロテスタントの拠点を発見、弾圧、アウト・デ・フェ]

- ・ 1558年9月21日、カルロスが死去

ユステ修道院

